防災への取り組み

平成２３年（当時）

平成２６年（現在）

楠小学校区つながろ会は、昨年11月4日に設立され、「安全・安心で助け合える地域の絆づくり」に着手しています。

今回、最初の活動として防災研修会を平成26年2月27日（木）に奈良県五條市（大塔町）の土砂災害の現場視察を行いました。

目的地へは、バスで向かいましたが、五條インターチェンジを出てから少しすると、道路脇にまだ雪が20センチ位積っていて、奈良県内では一番寒い地域の一つとのことでした。

土砂災害の現場周辺では、山と谷が深くえぐれた場所が多く、あちこちで山崩れの補修をした跡が残っていました。現場は、平成23年9月の台風十二号で長く降り続いた雨により、山の斜面に深層崩壊が起こり、対面の住宅や集会所、消防の屯所、学校のグラウンド等を飲み込み、10名の行方不明者が出た場所です。そこは現在も工事中で、昨年の台風で川の護岸部分がまた流されたとのことでした。

集合研修中

五條市の「ふれあい交流館」で五條市役所の総務部山田次長や、自治会長を務め災害時陣頭指揮をとり住民を救った上田さんから、当時の状況を聞き、直接災害を受けた方たちの切実な思いや、今後の対応方法、この経験を忘れないようにして今後に生かしたい等のお話を聞き大変勉強になりました。

住民の中で、この場所は安全と考えている人と、ここは危険であると考えている人の意識の違いで、助かったり災害に巻き込まれたりの差があるようでした。

当時70名の避難者は、温泉施設や宿泊施設を避難所として住民で運営したそうです。

今後は、研修の成果をつながろ会の中で皆と討論しあい、これからの活動に生かしてゆきたいと思っています。皆様方のご支援とご協力をよろしくお願い致します。

研修部　部長　工藤

研修参加のみなさん

防災訓練 今年の予定

日程：11月2日（日）
時間：9時から
場所：赤峰市民広場

昨年（２５年）の
赤峰市民広場における
訓練の様子

地域の活動報告

桐ヶ丘中央自治会活動報告

大地震や大規模災害から命を守るための「自主防災組織」が立ち上がっています。

地域自主防災組織の先輩団体や、市役所からの支援を受けながら、自治会で協力し合って防災活動、防災訓練に取り組んでいる事例をご紹介します。

桐ヶ丘中央自治会では昨年度（24年度）より地域の有志の方々や自治会会長を始め防災役員の方々とで自主防災組織の立ち上げに向けて再三会議を開き、やっとのこと自治会内に「自主防災部」を結成しました。

25年度に入り防災部会にて色々と話し合いを重ね、防災規約作成や第1次避難所への防災マップを作り全戸に配布しました。

また自主防災の主旨や意義等の啓蒙資料を回覧しました。

昨年11月10日（日）には赤峰市民広場にて市の防災訓練を見学し自主防災の重要性を痛感して、早速、住民の現状確認のため緊急連絡安否確認ネットワークを各家庭に配布・回収し、１４１世帯の賛同をいただき名簿を作成しました。

初めての第1回防災訓練を1月26日（日）に町内の第一公園と集会所にて市役所から防災出前講座を受講し、初期消火の訓練、ＡＥＤの使い方や即席担架の作り方、傷の手当の仕方等を教わり、最後に各位に非常食を配布し、お持ち帰りしていただきました。

今回の訓練で良かった点は防災器具の取り扱いが理解できたり、日ごろ町内の知らなかった会員の方々と顔見知りになったり、お話ができたり良い繋がりが深まり、いい体験になりました。

桐ヶ丘中央自治会
防災部会長　中山

私とつながろ会

その日、ちょうど2年前の春、私の日常生活が変わった瞬間です。

桐ヶ丘中央自治会で、「２０１２年度の自治会の役員を決めます」と以前にお知らせがあったのですが、てっきり決める日時を忘れており、自宅のインターホンで呼び出され、慌てて集会所に行って会議に出席、くじ引きで「会長」を引き当ててしまいました。これが私の自治会への積極的な参加の始まりでした。

河内長野市には、今から12年前に、結婚を機に引っ越してきました。引っ越してすぐに初めての自治会の班長が回ってきましたが、一部員でもあり、子どもも0歳だったので、正直、会議に参加しても、活動の内容を具体的に知ることもなく、年が過ぎていました。

今回は、なんといっても「会長」ですから、そんなことではいけません。実家で暮らしていた時と違い、近所の方の名前や顔、家族構成も分からないままに過ぎた12年間はどこへやら。あっという間に、密な交流を持つ1年となりました。

その年の班長には、とても協力的な方が多く、毎年実施している「ふれあい祭り」で市の出前講座「自主防災～市民が主役」を実施し、もちつき大会を実施しながら、自治会の皆さんに、地震や大雨が降り続いた時の危険性や自主防災の必要性を知ってもらいました。

このように、他の役員や班長との協力や、市役所に相談する機会も増える中で、地域のあり方に疑問を感じていた時に、市役所から楠小学校区「つながろ会」という防災を考える集まりがあると聞き、とても興味を持ち、私自身も、地域の防災に不安を感じていたので、会長であることをいいことに、自治会の集まりで班長に伝え、交代で班長が参加し、他の自治会との顔合せができるようになりました。

これがきっかけとなり、自治会内で「自主防災組織」を立ち上げる準備が始まり、翌年の総会で認定、活動が開始されたわけです。

自治会の役員や班長は、1年ごとに交代していますが、自主防災の活動は、私の代のみ、翌年は自主防災部の準部員として参加しました。はじめての防災訓練には、たくさんの参加があり、応急手当や担架づくりには、私の子どもも喜んで参加していました。

今は、まだ初めてのことばかりで、戸惑いや悩みも多いですが、まわりの地域でも同じように考えている方がいることが分かりました。今住んでいる地域は、大きな災害で孤立する恐れがあり、これは、他の地域でも同じことです。

私は、自治会での防災マップづくりや自主防災づくり、また楠小学校区つながろ会の活動に関わることで、とても多くのことを得たと思っています。

中でも、つながろ会の役員や運営委員の皆さんは、とても優しく、人生経験も多く、色々と教えてもらえます。私は、今、子育て中、仕事もフルタイムで働く中で、毎日が時間との戦いです。けれど、絶対にこの活動は必要だと感じています。家族を守るためにも…。

桐ヶ丘中央自治会
広報部会　池上

編集後記

初めての広報紙発行となります。
今後も定期的に発行しますので宜しくお願いします。

ホームページを用意しました
http://ksrd.jp/kusunoki/
つながろ会　検索